

美学 266

「驚き」としての「喜び」の「現在」の美学へ ——デカルト『情念論』における美的時間の可能性——	馬場 朗 1
ディドロの芸術論における idée と modèle idéal	川野 恵子 13
象徴的なものとしての芸術 ——ガダマー芸術論における「象徴」概念の逆説——	土方 尚子 25
行為としてのダンス作品の同一性と変化 ——分析美学的存在論の観点から——	児玉 北斗 37
人物と樹木 ——ロジェ・ド・ピールの風景画論の意義——	村山 雄紀 49
《鹿狩りの仕留めの合図》（一八六七）再解釈の試み ——ギュスターヴ・クールベの狩猟画に 禁じられた暗喩を読む仮説の妥当性を検討する——	稲賀 繁美 61
「現代衣服の源流」を遡る ——日本におけるファッション展の成立について——	平芳 裕子 73
新刊紹介 小穴晶子 著『ヴェルサイユの祝祭：太陽王のバレエとオペラ』	赤塚健太郎 85
例会・研究発表会発表要旨	91
学会消息・編集後記	104
欧文要旨	110